

青 垣

第10号 発行日 平成20年7月17日

雲南市立吉田中学校だより

なぜ勉強？ なぜ仕事？ 人生は自分で築きあげる ～ 大手企業トップに学ぶ～

7月3日 雲南市とタイアップした「生き方学習の講演会」を3年生を対象に実施しました。

講師には、化粧品受託生産では最大手企業の日本コルマー株式会社代表取締役 神崎茂会長をお招きしました。日本コルマー株式会社の本社は、大阪にあり東京には支店があります。国内にある工場は、地元の出雲工場(加茂町)の他に2箇所、研究所は3箇所あります。国外では、アメリカ合衆国や韓国など数カ国に工場があります。

この講演会は、生徒たちが「責任ある社会人として自立し社会で活躍する」一助になればと企画をしました。講師の神崎会長には「なぜ勉強するのか、なぜ働くのか」という演題で講演をいただきました。

この講演会の様子は、7月5日付けの山陰中央新報の紙面でも大きく取り上げられましたのでご存じの方も多いかと思います。神崎会長の、熱の入った講演は休憩なしの90分におよびましたが、ここでは、印象に残った部分をまとめ紹介をします。



なぜ勉強をするのか？ なぜ働くのか？

仕事の目的は独立をして生計をたて、社会人として自分や家族の生活(衣食住)をまかなうことです。

働くとは自分の能力を高め自分を磨くことです。また、自分のためというより社会への貢献だと考えます。そして、その報酬としてお金(賃金・給料)がもらえるのです。

日本コルマー株式会社は、英語で世界と繋がりシェアを広げています。海外にも工場がありますが中国語や韓国語、英語でも、勉強する気持ちがなければ覚えられません。海外で働く社員には、1年間で、韓国語で講演ができるようになったり、英語で

みんながビジネスをしている 売りよし 買いよし 世間よし

喧嘩ができるくらいに上達する人がいます。

社会人として最も大切なのは、人と人との付き合い方、社交性やコミュニケーション能力です。そして、英語はどこの国でも使えますから、企業は英語の得意な人を欲しがります。また、コンピューターは必須(必ずいる)です。機械を動かすのも情報の収集発信もコンピューター、数千種類の物や材料を管理把握するのもコンピューター、世界を瞬時に繋ぐのもコンピューター、ですからコンピューターは否が応でも使わざる終えないのです。

今、中学生の皆さんに付けてもらいたい力は、英語やコンピューターの基礎知識以上に「日本語がしっかりと使える、自分の考えを文章にして書き表せること」です。言語能力を高め自分を表現できることがすべての基本になります。当然、正しい言語が使えなくては英語で表現することも、コンピューターを正しく操作することもできません。そして、豊かな人間関係を築くことにも無理があるでしょう。

仕事は人間を磨く場 ～ 仕事は社会貢献の場～

「仕事は苦勞をする」だから仕事を通して人間としての能力を身につけることができるのです。ですから皆さんに「自分の天職を見つけて欲しい」のです。将来、結婚もし家族もできるでしょう。そのためには働き生活費を稼がなくてはなりません。

人は誰でもビジネスをしています。身近な農業でもよい作物・商品を作ろうとしています。仕事を通しての人と人とのやり取り、買う人と売る人「売り買い」の立場、お互いが妥協をして商売ができています。売った方も買った方も「良かった」と思うのがビジネスです。お金を出して買うのは消費者です。生産者は、値段が安く良い物を提供するために努力をします。近江商人の家訓に「三方よし」という言葉があります。「売りよし、買いよし、世間よし」のことです。これは「売った人も良い、買った人も良い、日本全体も良い」ということで社会貢献の意味を含んでいます。

仕事をすることで社会と繋がり、社会人としての責任が生まれます。そして、他者との繋がりの中で、人は一人では生きていけない、みんなで生きるのが人間社会だと知ります。また、そのような中で相手の立場に立って物事が考えられるようになり「人間力」が養われるのです。

お金は必要だけど それ以上には いない ～ 助け合える人間関係が大切 ～

自由主義は競争社会、競争は避けては通れないのです。スポーツの世界も同じです。競争するから頑張れるのです。日本の産業技術はすごいですよ。自動車業界では、車の生産台数において日本製がアメリカ製を追い抜きました。日本コルマーの出雲工場でも、製品が出雲からイギリスやアメリカへ輸出され世界と関わる仕事ができます。そして、世界中から情報が集まります。

企業の目的とは、お金を儲けることです。そのためには顧客を作り出し、製品を売る。そして新しいお客を獲得する。それにより企業が発展する。さらにお客さんを大切にしながら、新しい製品を市場に供給する。この様に『ビジネスの内容は地味』なものです。仕事は、ガマン(忍耐)・ソロバン(利益の確保)・カンバン(信用)と近江商人は言っています。企業は適切な利益を上げ、従業員に賃金を払い設備投資をする。大きな利益を得ることよりも、人間関係を大切に信用を得ることです。



勉強も仕事も 一生懸命が大切

突然ですが、「お金とは何だ」と思いますか。お金は品物と代える手段です。お金は必要ですが、それ以上には入りません。それより困っているときに助けてくれる人間、人間関係が大切です。働くとは八丈(周囲の人)を楽にすることだと二宮金次郎は論じたそうです。今、世界中で飢餓や生活環境で苦しんでいる人がたくさんいます。皆さんは吉田に生まれて幸せですね。自分を大切に、また周囲の人々を大切にしてください。

世間では人の生き方を「勝ち組 負け組」などと区別する風潮があります。そんなのは関係ありません。どのような仕事に就きどのように生きるかは、自分で考え自分の人生をまっとうすればよい。結果よりプロセスを大切にしたい。仕事でも勉強でも一生懸命にやるかやらないかです。生きていく中には挫折を感じることもあるでしょうが、自分の人生を築きあげることが大切です。

生き方を学ぶ ～ 熱心な講話 ～

神崎会長の熱意あふれる話しに、生徒たちは仕事の大切さや、勉強することの意義を学び、自分の将来を見詰める貴重な時間となりました。お忙しい中、遠路はるばる吉田中にお越しいただき、有意義な講演をいただきました神崎会長に衷心よりお礼を申し上げます。



社会に出て働くこととは 講演後の生徒の感想 ～ 人と人との繋がり ～

・神崎さんの話を聞いて学んだことがいっぱいありました。私は将来の夢があるけど「自分にはできない無理だ」とすぐ思ってしまいます。けど、辛抱(しんぼう)強く頑張っていけないといけないと思いました。私も大人になって働くようになったら、自分をしっかり完成させていきたい。そのために今できる勉強やパソコンをしっかりとやっていきたいです。

・話を聞いて、人生は大切だと強く感じました。働くときには、まずコンピューターは欠かせない。英語は絶対に役に立つなどを話してもらい、英語は今、学校で学んでいるけど、将来こんなに役に立つんだなと思いました。働くときに、何でも中途半端にやってしまうよりも、一つ一つをしっかりと取り組んで自分を完成していくことが大切だと分かりました。人生における挫折はつきものだし、そういうことも人生の一つだとすごく感じました。今、普通に暮らしているのは本当はすごいことで、人はいずれ死ぬから毎日を大切に生きたいと思いました。

・会長さんの話を聞いて、働くこととは、お金をもうけて生活することも大事だけど、自分を磨くということも大切だということが分かりました。「三方良し」という話の中で、ビジネスをしている人だけでなく、「世間全体も良くなるようにしなければ」の言葉が心に残りました。自分が働くようになっても自分のことだけではなく、他の人のことも考えながら働くようにしたいです。



地域コーディネーターの紹介



7月より地域コーディネーターとして勤務をお願いしました青木重春さんです。以前に吉小にお勤めでしたのでご存じの方も多いかと思えます。週に3日程度の勤務を予定していますのでよろしくお願いたします。

地域コーディネーターは、国が創設した「学校支援地域本部事業」～地域ぐるみで学校を支援しよう～を受け、市内の全小中学校に配置されました。職務内容は、学校支援に関する学校と地域のニーズの把握、学校支援を行う地域のボランティアの発掘、派遣調整、学習支援や環境整備のための様々な情報収集と実施などの役割を担います。

吉田中学校の新ホームページがスタート ホームページアドレス

<http://www.city.unnan.shimane.jp/yoshida-chu/>

